

講義科目名称： 初等教科教育法（国語）

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
山口 妙子			
木4			
添付ファイル			

科目の概要	小学校教員として国語を指導するうえで、必要な知識や技能を身につけるとともに、具体的な教材研究をとおして、国語科の教科の本質をふまえた教材研究と発問について理解し、授業記録の検討等とおして、実際の授業のあり方について実践的に理解することを目的とする。
授業の内容	<p>第1回 オリエンテーション (授業の進め方、成績評価の説明等)</p> <p>第2回 国語科で子どもたちに身につけさせたい力とは (認識の力を育てるー文学の場合・説明文の場合)</p> <p>第3回 文学で子どもたちに身につけさせたい力とは (低・中・高学年の認識の内容と方法)</p> <p>第4回 文学でどのような教材を選択すればよいか (教材とは何か・作品分析と教材研究の区別と関連)</p> <p>第5回 文学の教材研究をどうするか① (文学教材の芸術性、思想性、教育性について)</p> <p>第6回 文学の教材研究をどうするか② (文学教材を使って教材分析をおこなう)</p> <p>第7回 文学の教材研究をどうするか③ (文学教材を使ってグループで教材分析をおこなう)</p> <p>第8回 文学の教材研究をどうするか④ (グループでおこなった文学教材の分析を交流する)</p> <p>第9回 文学の教材研究をどうするか⑤ (文学教材の教材観を書く)</p> <p>第10回 国語科学習指導案の書き方 (学習指導案を書くうえで留意すべきこと・学習指導案と授業のあり方)</p> <p>第11回 説明文で子どもに身につけさせたい力とは (どのような教材を選択すればよいか)</p> <p>第12回 説明文の教材研究をどうするか① (説明文を使って教材分析をおこなう)</p> <p>第13回 説明文の教材研究をどうするか② (説明文を使ってグループで教材分析をおこなう)</p> <p>第14回 説明文の教材研究をどうするか③ (グループでおこなった教材分析を交流し、ディスカッションを通して深める)</p> <p>第15回 全体のまとめ</p>
学習到達目標	国語科、とりわけ文学、説明文についての教材研究の仕方について理解し、国語科の実際の指導の方法や技術を習得することを目標とする。
授業の方法	講義
成績評価の方法	授業中のとりくみ・その都度の講義の理解度 (30%) 学期末のレポートによる試験結果 (70%)
教科書・テキスト	とくにテキストは使用しない。授業に必要なプリント資料は随時配布する。
参考書	①「最新版 西郷竹彦 教科書指導ハンドブック 子どもの見方・考え方を育てる 小学校低学年・中学年・高学年国語の授業」(全3冊)(西郷竹彦著) ②「読んだ!試した!!大成功!!! どの子も参加したくなる希望の授業づくり」(山口妙子共著)
授業時間外の学修について(事前・事後学習について)	授業の復習をおこなうとともに、授業中に指示した必要な事項について、前もって考えておく。
履修上の留意事項	授業ごとに、学習のまとめや感想を書いてもらう予定なので、その構えで履修すること。
オフィスアワー	授業時間の後に控室で
担当教員への連絡方法	授業時に知らせる

その他	
-----	--